

インターバンクの声（2015年5月8日）

8日の日本時間朝の海外メディアは、7日に投票が行われた英総選挙の出口調査結果を伝えたり最終的な結果予想を伝えています。事前予想通りの接戦になってはいるものの、ことによると保守党が単独で想定外となる過半数獲得もあるとも報じています。出口調査結果と実際の結果にどれだけ誤差が生じるのか定かではありませんが、取り敢えず市場は素直に出口調査結果に反応、ポンドは対ドルで一気に200ポイント上昇しています。保守党が意外に議席を伸ばしそうな一方で、もう一つの驚きはスコットランド民族党（SNP）の得票数が伸びていること。最終的に保守党が過半数を獲得出来てもスコットランド民族党の議席数も大幅増となれば、ユーロ圏離脱やスコットランド独立問題などを巡って英国政局の先行きも難しくなりそうです。ポンドは直近一カ月に900ポイントもの変動があり、ユーロも対ドルで同じく900ポイントに迫る変動を見せています。ポンドやユーロ程ではありませんが、豪ドルも500ポイント以上動いています。この間、ドル円の変動幅は約200ポイント（2円）。そろそろ大きく動き出すのはドル円の番かも知れません。今晚の米雇用統計結果が動く切っ掛けとなるか、もしくは反応が鈍いような展開となれば、やはり収益機会の拡大を求めて、ユーロ、豪ドル、英ポンドなどの取引に比重を置き直すのが得策かも知れません。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。